

情報ニュース

社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会
石川県聴覚障害者センター fax076-261-3021

ひとり一人のろう者の生活と権利を守る「岩」

新作番組のお知らせ《「地方の手話」奥能登の地方手話を探して》

ドキュメンタリー番組「地方の手話《奥能登の地方手話を探して》」を実験的に制作しました。

この動画は、施設のビデオライブラリー及び日常生活用具《聴覚障害者情報受信装置》「アイドラゴン4」※1、または、当施設の動画配信チャンネル※2から視聴できます。

※1 「アイドラゴン4」の申請等は、お住まいの市町福祉課へ御相談ください。

※2 右記のQRコードから動画を視聴できます。



金沢市手話動画「手話で話そう」好調

《全18回の累計再生回数が7万回を突破》平成30年9月10日調べ

今年2月に金沢市と共同で制作した手話動画が好調です。現在、金沢市の公式動画チャンネルの人気動画の上位15位/200タイトル中にランクインしています。また、全18話の累計再生回数は、78,825回になりました。この動画は、金沢市手話奉仕員養成講座（入門編）のうち講義を除く、実技18回の各回の要点をまとめた手話動画です。まだ、視聴されていない方は右記のQRコードから動画を視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。



きりぬきこ〜な〜 その①



救急車にタブレット端末

かほく市消防本部は20日、蔵しており、外国人傷病者までに、保有する救急車2台へタブレット端末各1台を導入した。多言語音声翻訳アプリと筆談アプリを内蔵し、迅速な救急搬送や救命率向上につなげる。

市消防本部によると、救急車に翻訳アプリ内蔵のタブレット端末を導入したのは金沢市消防局に続き県内2例目となる。翻訳アプリは40カ国語に対応し、タブレット端末の使い方を確認する救急隊員（左）かほく市消防本部

救急隊員が話す日本語を外国語に翻訳し、音声と文字で表示する。傷病者が話す外国語も日本語に音声と文字で翻訳される。筆談アプリを使えば、端末の画面に専用ペンで文字を書くことができる。外国人の救急搬送でコミュニケーションに苦労した経験がある救急隊員の提案を受け、市が端末の導入を決めた。端末は市の民生活課と健康福祉課の窓口にも設置された。市と市消防本部によると、市内に住む外国人は7月末現在288人で、昨年の外国人救急搬送は6件だった。

ユニバーサルデザイン

スマートフォン（スマホ）や携帯電話から簡単に119番通報できるホームページが、聴覚障害者にやさしい。色覚多様性に対応した分かりやすい色



表示が大きく操作しやすい

119番通報 通話いらず

合い、大きな表示デザインが好評だ。居住地の消防本部が専用の通報システムを導入している必要があり、事前に登録しただけで利用できる。緊急時に画面を開くと「救急」の大きな文字が目につく。隣には「火事」と「その他」の表示もあり、どれかを選んで触るだけで、位置情報も同時に伝わりチャット形式の対話もできる。救急の場合なら、意識のあるなしや急病なのか分からないかを、記入や選択式で答えていくだけで、地理情報システムソフトを開発するドーン（神戸市）が作った。東京消防庁は2015年12月にこのシステムを導入した。篠原ひとみ・消防司令補は「簡単に必要事項が伝わり、利便性が高まった」と話す。採用する自治体は増え登録者は全国で約7000人（18年3月時点）。国も18年度に自治体に交付する予算を組み普及を後押しする。

↑【日本経済新聞】7月29日掲載

←【北國新聞】8月21日掲載



2018 年度石川県登録要約筆記者試験（全国統一試験）について

受験申込の詳細については、後日、本誌及び当センターホームページ等でお知らせする予定です。

■日 時：2019 年 2 月 17 日（日）午後 1 時～午後 3 時半（予定）

■会 場：石川県社会福祉会館

■申込期間：12 月 3 日～12 月 20 日

■申 込 先：石川県聴覚障害者協会

※要項等の詳細は 12 月 3 日より当センターホームページに掲載します。

県立中央病院からのお知らせ

患者総合支援センターで予約を

紹介状をお持ちの患者さんのうち、事前に紹介元の先生から予約のあった患者さんを最優先で受付・診療しています。紹介状を書かれる先生に、当院患者総合支援センターへの事前予約をご依頼されることをお勧めします。



解体・外構工事の進捗に伴い「北 駐車場」が拡大し、仮設歩道の経路が変更になっています。出来るだけ「北 駐車場」のご利用をお願いいたします。

全職員対象に手話講習会を開催しました

9 月 10 日（月）新田照予さんを講師にお招きし、聴覚障害の基礎知識や手話を学びました。難聴者・ろう者の聞こえの様子を可視化することで、補聴器を使用してもはっきりとは聞き取れないことや、口話だと口の形が似た言葉は区別しにくいことなどの理解が広がりました。

手話での挨拶や医療現場でよく使う単語を覚え、会話を試みました。なかなかスムーズには表せませんが、安心して受診していただけるように簡単な手話から覚えていきます。

🏆 応援へ行こう！頑張れ！ツエーゲン金沢

石川県手話言語条例制定における「プロスポーツチームと連携した手話啓発」を実施します。

11 月 4 日（日）石川県西部緑地公園陸上競技場において、ツエーゲン金沢試合会場にてイベントを実施します（手話通訳付）。会場内では手話言語条例の説明や、手話体験コーナーなどを企画予定です。

詳細は、後日各市ろう協会に連絡いたします。各市ろう協会までお問い合わせください。

「J2ホーム戦で啓発活動」
県は11月4日に県陸上競技場で開催されるツエーゲン金沢の試合場で手話の普及活動を行う。4月に施行した手話言語条例の啓発の一環で、観戦者が聴覚障害者と一緒の手話で応援したり、簡単な手話を学んだりして手話への関心を高める。当日は午後1時のキックオフ前に正面観水場に手話体験ブースが設けられ、聴覚障害者協会の職員が観戦者に「頑張れ！ツエーゲン金沢」を手話で伝える体験を促す。会場内では手話言語条例の説明や、手話体験コーナーなどを企画する。11月4日、県が企画する手話言語条例の啓発活動の一環で、観戦者が聴覚障害者と一緒の手話で応援したり、簡単な手話を学んだりして手話への関心を高める。当日は午後1時のキックオフ前に正面観水場に手話体験ブースが設けられ、聴覚障害者協会の職員が観戦者に「頑張れ！ツエーゲン金沢」を手話で伝える体験を促す。会場内では手話言語条例の説明や、手話体験コーナーなどを企画する。

ツエーゲン金沢 手話で応援

11月4日、県が企画する手話言語条例の啓発活動の一環で、観戦者が聴覚障害者と一緒の手話で応援したり、簡単な手話を学んだりして手話への関心を高める。当日は午後1時のキックオフ前に正面観水場に手話体験ブースが設けられ、聴覚障害者協会の職員が観戦者に「頑張れ！ツエーゲン金沢」を手話で伝える体験を促す。会場内では手話言語条例の説明や、手話体験コーナーなどを企画する。

【北國新聞】9月13日掲載

第27回全国盲ろう者大会 日時:8/31(金)~9/2(日) 会場:千葉市幕張メッセ

第1分科会「全国の盲ろう者の生の声を聞く」に参加しました。東京盲ろう者支援センターが今年度から開始した「盲ろう者向け同行援護事業」について、開始までの準備や現在の状況、今後の課題などについて報告を聞きました。新しい制度ですが、地域によって盲ろう者の人数や事業所の規模など違いがあり、また人材確保などなかなか厳しい状況があると感じました。



会場では手話通訳と要約筆記が準備され、盲ろう者個々のニーズに合わせた様々な通訳方法でコミュニケーション支援が行われていました。

(報告者:長井)

石川県障がい者スポーツ指導者協会からのお知らせ

第7回石川県カローリング大会 参加者募集!!

日時:平成30年10月21日(日)9時00分~14時20分

会場:鹿島体育センター(石川県鹿島郡中能登町井田い部34番地)

参加費:1チーム(3名)1,500円 *個人参加の場合は500円

申込方法:参加申込書に必要事項記入の上、FAX・メールにて申込みください。

申込締切:平成30年10月6日(土)必着

申込先:石川県障がい者スポーツ指導者協会

FAX 076-220-6421

MAIL i-psca@snow.ocn.ne.jp



きりぬきこ〜な〜 その②



2000人防災意識新た

野町、長町、長田町で市民訓練

今年度の市民防災訓練は、野町、長町、長田町の3町で、2000人を超える市民が参加しました。訓練は、防災意識の向上と、災害時の対応能力の向上を目的としています。

旧野町小の会場では市聴覚障害者福祉協会の会員が聴覚障害者の避難誘導に役立つ「逃げる」「危ない」などの簡単な手話を紹介する講座も開かれました。

→【北國新聞】8月27日掲載

→【毎日新聞】8月9日掲載

能美市消防本部 職員向けに手話講座

聴覚障害者への理解深め

「相手に合わせた方法で」

能美市は今年4月、手話通訳者を採用し、聴覚障害者の救急搬送や火災発生時の対応に努めています。このため、消防本部の職員向けに手話講座を開催しました。

講座では、手話の基礎知識や、救急搬送時の対応方法などについて学びました。また、手話通訳者の役割や、聴覚障害者の生活状況についても学びました。

消防本部は、聴覚障害者の安全確保と、災害時の対応能力の向上を目的として、今後も手話講座を開催していく予定です。

「119番」メールやファクスでも

毎日新聞は県内の119消防局・消防本部に聴覚障害者のためのサービスや工夫について尋ねた。電話に困難を感えている人向けの「NET119緊急通報システム」を導入しているのは、金沢市消防局で奥能登広域圏事務組合消防本部で七尾消防広域圏事務組合消防本部の3消防局・消防本部。同システムは事前登録が必要で、携帯電話などインターネットに接続し、文字のやり取りなどで通報する。かまぐさ市、津幡町、内野町の3消防本部管内の119番通報は金沢市消防局が対応している。また、その他の消防本部は電話だけでなく、メールやファクスを用いた通報システムも採っている。

一方、白山野々市広域消防本部は今年7月、管内の当事者団体からコミュニケーションボードの寄贈を受け、救急車全8台に配備。ボードの使い方や手話について11月に講習を実施する予定という。担当者は「すぐに効果が出ることから始めた」と話している。



能登就労支援事業所

やなぎだハウスだより



◆◆◆ やなぎだハウスまつり『ありがとう一周年』 ◆◆◆



デフお笑いコンビ 手豪
～C H I & S K Y～



田鶴浜高校手話部



手話サークル こだま会

8月4日 やなぎだハウスの開所一周年を記念した『やなぎだハウスまつり』を開催しました。当日は大変暑い日になりましたが、約80名の方にご来場いただきました。

手豪のお二人には、この日のためにわざわざ岐阜県からお越しいただきました。とても面白い漫才で会場が盛り上がりました。田鶴浜高校手話部の若さあふれるパフォーマンスには、来場者の目がクギ付けとなりました。手話サークルこだま会のユーモアあふれる劇では会場が和み、その後のコーラスにおいても会場が一体感で包まれました。



竹とんぼ大会の様子



当日お越しいただいたみなさま、準備・後片付けにご協力いただいたボランティアのみなさま、本当にありがとうございました。

こどもたちとの交流

7月26日、27日に能登町と輪島市から、こどもたちが交流に来て下さいました。こどもたちは習ったばかりの手話を上手に表現してくれました。また、利用者とこどもたちが一緒に紙飛行機作りやトランプで交流を図りました。その交流の場には、たくさんの笑顔の花が咲きました。

こどもたちから元気をいっぱいもらったひとときでした。

